

平成 17 年 4 月 12 日

各 位

国際石油開発株式会社  
代表取締役社長 松尾 邦彦  
(コード番号: 1604)  
問合せ先: 広報室長 伊藤 成也  
(電話: 03-5448-1238)

## オーストラリアにおける安全操業賞(探鉱部門)受賞について

当社子会社インペックス西豪州ブラウズ石油(株)は、平成 17 年 4 月 11 日、オーストラリア連邦パース市で開催されたオーストラリア石油探鉱開発協会(Australia Petroleum Production & Exploration Association (APPEA))の年次総会において、同協会より 2004 年度安全操業賞探鉱部門賞(Safety Award)を受賞した。

APPEA の安全操業賞は、オーストラリアにおける石油の探鉱・開発・生産作業において、生産操業、探鉱作業、掘削コントラクターの 3 部門でそれぞれ最も優れた安全操業を行ったと評価された企業に対して授与されるものであり、インペックス西豪州ブラウズ石油(株)は、昨年の日本企業としての初の受賞に引き続き二年連続二回目である。

インペックス西豪州ブラウズ石油(株)は、2003 年 6 月から 2004 年 2 月にかけてイクシスガス・コンデンセート田を対象に 3 坑の試探掘井を連続掘削する第二次掘削キャンペーンを実施した。APPEA は、今回の安全操業賞の審査において、同社の 2004 年 1 月から 2 月までの掘削作業期間中の安全操業及び同掘削作業終了後に実施した将来の作業に向けての HSE (Health, Safety and Environment: 衛生・安全・環境) 活動の目標設定への取り組みを、受賞に値するものとして評価した由である。

当社は、従来より HSE への積極的な取り組みを続けてきており、今後、本プロジェクトのみならず、オペレーターとして積極的に探鉱・開発・生産活動を行う際はもとより、他の国際石油企業等との共同プロジェクトにおいても、世界各国の操業地において、より一層の安全操業及び環境保全に努め、我が国への石油・天然ガスの効率的で安定的な供給に貢献してまいることとしている。

以上

補足説明:

インペックス西豪州ブラウズ石油(株)の探鉱事業の概要

1. インペックス西豪州ブラウズ石油(株)(当社の 100%子会社)は、1998 年 8 月より、西オーストラリア州沖合 WA-285-P 鉱区でオペレーターとして探鉱作業を実施している。同鉱区は、ブルームの北約 440km 及びダーウィンの西約 800km に位置し、面積は、3,069 平方キロ、水深は 90~340m である。

2. 1998年に地震探鉱作業を行い、2000年から2001年にかけて3坑の試掘井掘削作業の第一次掘削キャンペーンを実施し、全3坑井においてガス・コンデンセートの産出に成功した。
3. 2003年から2004年にかけて、3坑の試探掘井掘削作業の第二次掘削キャンペーンを実施し、いずれの坑井においてもガス・コンデンセート田における貯留岩層の性状・分布の確認に成功した。
4. 現在、ガス・コンデンセート田の開発について評価作業を実施しており、2010年以降の商業生産開始を目指してLNG、GTL、豪州向けのパイプラインによる生ガス供給等の各開発シナリオを検討している。



